

イラク戦争反対、3・20集会・大阪の人文字



No.370

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

平和への願いをこめて署名達成へ 全会員による署名行動に前進を

あふれかえる熱気に包まれた「9条の会」各地の集会は、憲反対の国民的なひろがりがありが深く深い「鉦脈となつて」(奥平康弘)日本列島を縦断しました。

イラク戦争に反対する3・20共同行動は、文字どおり全世界を網羅し、その2日前の仏・独・ロ・スペイン首脳会談でもイラク戦争反対の立場を確認。ブッシュ訪欧、ライス米國務長官らの世界行脚は、米国の孤立化を示すこととなりました。

韓国・盧武鉉大統領は、「新しい歴史教科書」(扶桑社)や「従軍慰安婦問題」について日本は「侵略と支配を正当化して再び覇権主義を貫徹しよう」としているとして、政府に断固たる是正を求め、中国政府も同調。小泉・自民党をはじめ改憲勢力の危険な策動が国際的にも浮きぼりになりました。

3月10日、東京高裁は終戦直後の「横浜事件」有罪判決に対する横浜地裁の「再審決定」をめぐるこれを支持、司法当局はついに「拷問による自白」を認めました。

戦争と暗黒政治下の戦争犯罪と非人道的行為は、戦後60年、ますます国内外から明らかにされつつあります。

「9条を守る」ためにも、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求める署名運動を全会員とともに成功させ、5月10日の国会請願に結集していきましょう。

主 な 記 事

三月中央常任理事会	2
中央常任理事会の発言	3
横浜事件・東京高裁の「再審開始」の決定に寄せて /増本一彦	4
顕彰碑/手塚英孝文学碑	5
時の焦点/国民投票法案	5
抵抗の群像/久木興治郎	6
同盟歌壇/碓田のぼる選	7
映画「時代を撃て・多喜一」	7

国会請願、五〇万署名達成へ 全同盟員が総力をあげよう

三月中央常任理事会

同盟中央常任理事会は、齊藤事務局長報告、「憲法九条改悪許す

る国民を励ましました。

な、五〇万署名達成へ、五月国会請願成功めざし全同盟員が総力をあげよう」の提案と討議のまとめ

を全員一致で採択し、五月国会請願と七月全国大会めざし攻勢的に活動する決意を固めました。

一、当面する情勢と同盟の任務

二、五月国会請願と七月全国大会めざし

三・二〇国際反戦デーでは、アメリカはイラク侵略と占領を止めよ、自衛隊は撤退せよ」の叫びが

一、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求し、都道府県自主目標の総達成を

全世界と日本でひびきわたり、戦後六〇年の日本では、「再び戦争はしない」「憲法改悪は許さない」の決意が広がりました。

三月一日現在の署名数一七万六千(三五・五%)の立遅れ克服に全力をあげる。三〇万都市秋田支部は、一六〇名の会員の八〇%が署名をあげ、一六、六〇〇筆の個人署名と五〇〇の団体署名を集め、会員拡大をふくめ三目標を一〇〇%達成しました。この教訓に学び全都道府県本部と支部の役員が同盟員と分担して署名を訴えつくし、団体の協力も得て、自主目標を必ず達成する。

わが同盟員は、これらの国民に訴え、「侵略戦争反対」「主権在民」を主張したため投獄・拷問された治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する国会請願署名をすすめてきました。拷問、デッチあげを非難し、横浜事件再審を決定した東京高裁決定は、人権を尊重す

地方議会の陳情請願の強化
③ 全県から一人は国連要請へ
④ 山梨石川さだのさんの名誉回復と横浜事件再審無罪、謝罪と賠償要求の闘いを支援する。

- 2、多喜二記録映画の上映など
- ① 同盟員本部・支部が各団体と実行委を作り、時代を撃て・多喜二の自主上映を成功させる。
- ② 四・一六記念、伊藤千代子生誕一〇〇年、飯島喜美没後七〇周年など記念祭を成功させる。
- ③ 平和のための戦争展の準備を3、一万六千人会員拡大と
- ④ 五月十日国会請願終了後、七月九日全国大会まで、同盟は全国的に会員拡大に総力をあげる。

犠牲者顕彰活動の強化

- 4、書籍を普及し学習を強める
- 5、治安維持法と現代」誌の普及、根本弁護士講演を基本にした女性むけパンフ作成、『戦後の特高官僚』の普及をはかる。
- 6、全国大会めざし、中央本部及び都道府県本部の財政を確立する
- 6、東京都議会議員選挙での革新勢力の前進めざし全力をあげる



私たち埼玉県本部の事務所(所沢市)から西武球場駅をはさんで二十分ほどのところに、通称「山口

観音」の金乗院がある。ここに戦争中強制連行先の三菱重工広島で被爆、敗戦直後の帰国船が台風で沈み死亡した朝鮮の人達の遺骨一三二体が保管されていることを、迂闊にも最近まで知らずにいた。韓国では今年一月、四十年前の日韓条約文書の一部を公開。当時の軍事政権と日本政府が「慰安婦」や強制連行など個人の補償請求権を黙殺した経過が明らかにされ、二日後広島高裁は、強制連行で三菱重工で被爆した原告達の訴えを認め賠償を命じた。こうした中で、二月十九日、在日朝鮮・韓国人の団体と「真相調査団」の共催で、この金乗院で追悼会が催された。「遺骨はゴミのように扱われている」、参加者は沈痛な面持で遺骨をみつめた。戦争責任追及、戦後処理・補償の運動のもつ、言葉にもあらわし切れないほどの重みを改めて感じさせられている。(巽)

〈中央常任理事会発言〉

新しい活力注入を力に 国賠署名で全力

大阪

大阪府本部は昨年七月の府大会で陣容が強化されました。なにより新事務局次長となった塩田一行さんが出会う人すべてにといつてよいほど気軽に同盟への入会を訴え、次々に会員拡大をすすめたことです。これが新風を巻き起こし、牽引車にもなつて、堺、三島、生野などの支部での会員拡大の取り



三月中央常任理事会

組みもすすみ、新しく泉南地域支部も誕生しました。この八ヶ月間に二〇〇名を新しく同盟に迎え、死亡者・退会者を差し引いて、純増一四八名となっております。今年の府大会には最高の峰を築くためにがんばります。

新しい活力が注入されたことを推進力に、国賠署名の取り組みでも、各支部が自主目標の超過達成するために役員先頭に奮闘しています。くりかえし団体訪問を行つて協力を訴えることが、目標達成の鍵になると、ほとんどの支部が取り組みを強めています。

重税反対統一行動、三・二〇集会などで精力的に署名を集めた支部もあります。しかし国会請願が目前に迫っている三月末の到達が、府

全体で三万三二〇〇筆と、ようやく目標の五割を超えたばかりで、目標達成のためにはあとひと頑張りが必要です。府本部では会員一人が三〇筆集めて目標に到達しようとしてくりかえし提起してきました。

一人ひとりが国賠署名に取り組みやすいように、国賠署名の意義をわかりやすく訴

えたチラシも作ってきました。支部のあるところも、ないところももう一度全会員に訴えつくしていく、原点に立った取り組みをすすめることを本部理事会として再確認し意思統一しました。

目標達成めざして、残された時間、府本部役員を先頭に全力上げて頑張ります。(柳河瀬 精)

四一人拡大し 会員拡大目標達成へ

岐阜

このままでは残目標一〇〇の達成は困難とみて、十二月、一月会員拡大に集中的に取りくむことを決めました。「五〇〇の会員で県本部事務所を」は年末の宿願でありました。

すでに十一月に県女性部は高山市で十数名参加の学習会を開き六名の会員を拡大していました。

一月の三役会議では恵那支部の一人の拡大以外の支部も会員拡大にとりくんでいない結果について問題点を討議しました。

①会員拡大は全国課題であるだけでなく県同盟の切実な要求でもあります。国賠署名は年々広が

ているが、目標達成の運動にひろがらない要因のひとつは、活動が新しい層にひろがっていないこと、同盟員の拡大で従来の活動の範囲をひろげることでした。

②前進できなかったのは拡大活動にとりくまなかった結果であり、組織として決めたことを皆で実践しなければ、それは組織でなく「サロン」になってしまう、同盟出番の役割を果たすためには県同盟の組織としての活動が求められていると話されました。

「不屈」「推進ニュース」で討議の結果を知り、まず岐阜支部女性部が「今とりくまねば」と呼応。今までの対象者に、さらに大衆組織の経験者など一気に七名(内女性四)の拡大を県女性部長等とも協力推進して、その後のとりくみで一八名を拡大しました。この活動に学び中濃支部女性部が電話、訪問活動で七名を拡大、本西支部が今までの署名活動のなかでの対象者をきめ七名を拡大、今日までに四十一名の会員を拡大しています。このため国賠署名が遅れるのではと心配しましたが、全会員で目標達成への活動が前進しつつあります。(神戸 照)

横浜事件・東京高裁の「再審開始」の決定に寄せて

同盟神奈川県本部会長 増本一彦

去る三月一〇日、東京高裁は横浜事件元被告五名の遺族による第三次再審請求即時抗告審において、原審・横浜地裁の「再審開始決定を支持する」判断をしました。

原告・横浜地裁では「治安維持法はポツダム宣言の受諾によって法律自体が失効していたから免訴に該当する」として再審開始決定をしたのですが、今回の東京高裁はさらに踏み込んで「拷問によって強要された虚偽の疑いのある自白を証拠として有罪判決がなされた」と認定して、「再審開始」を支持したのでした。

今回の東京高裁の判断は、拷問による虚偽の自白以外に証拠が存在しないならば、被告等は「無罪」の判決を得られる可能性を引き出したものであって、当然であるというべきです。

同盟は、ねばり強く闘ってこられた元被告の遺族の方々と弁護団に心から敬意と敬意を表するもの

です。治安維持法違反だといって特高警察に捕まった人びとが、どんなに苛烈な拷問を受けたかは、小林多喜二の一九二八年三月十五日の「小川龍吉に対する拷問シーン」が厳しく告発しています。

戦後、群馬県で活動した長谷川寿子さん(戦前に京浜地帯で活動)も、横浜造船のオルグ活動で捕まったときに、特高警察にいつしよに捕まった男性の同志の前で激しい性的凌辱の拷問を受けたことを語っておられましたし、安中久寛さん(戦前に京浜地帯で活動)も樽詰めにされて何回も転がされた

りしたと語っておられました。横浜事件についていうならば、被告たちを弁護された海野晋吉弁護士(戦後も人権擁護の先頭に立たれた弁護士でした)が、「このままでは、君たちは特高に殺されてしまう」と被告たちとの面会のたびに言われたと伝えられています。

す。一九二八年の三・一五事件で捕まった岡崎一夫弁護士も、自身に対する拷問ばかりか、一緒に捕まった農民組合の同志たちに加える激しい拷問の前で自白を強要されたことを述べておられました。

特高警察は、「自白は証拠の王」だと嘯いて、やりたい放題の拷問・凌辱のかぎりを尽くしてきたことは紛れもない歴史の事実なのです。そして、公判廷で、被告たちが拷問の事実を告発しても、裁判官は聞かぬ振りをして、特高警察と検事の拷問を野放しにしてきたのです。

横浜事件の再審が開始され、被告たちが全面的に「無罪」となるべきことは当然なのであって、同盟はさらに横浜事件関係者の活動を支援していきたいと思えます。被告たちが「無罪」となっても、戦前は刑事補償法がありませんでしたので、冤罪に対する補償はありません。私たち同盟の進める、国

家の謝罪と賠償」要求運動は、ますます重要性を増すのです。横浜事件の被告たちを含む治安維持法犠牲者こそ「日本国憲法を生み出す力となった人々」なのです。暗黒政治の復活と憲法改悪を許さぬためにも、同盟は、一段と奮闘しなければなりません。

同盟第32回全国大会

とき 7月9日(土) 13時~10日(日) 12時
ところ 東京・全労連会館

顕彰碑

山口県光市、瀬戸内海が眺望できる公園に立つ

手塚英孝文学碑

手塚英孝さんは、専作をもって知られた人であった。作品集『落葉をまく庭』に収録された、七編が知られてきたものすべてである。

手塚英孝さんの文学碑が山口県光市浅江の瀬戸内海が眺望できる小公園に建立されている。

手塚英孝さんは、作家小林多喜二の仕事と生涯とを今日ほぼ完璧なまでに世に伝え、次代に遺しました。評伝文学中の名作『小林多喜二』と合わせ、多喜二全集の編集という難事業に作家的生涯を傾



けた人である。

手塚さんは、晩年兵庫県八鹿町に足繁く取材に通った。部落解放同盟の暴力とたたかった八鹿高校事件を長編小説にするためだった。急病のため作品は果たされなかつたが、高校教師らが「これが本当の取材だ」と感嘆するほどの丹念な調査だった。今もつて惜しまれてならない人である。

宮本顕治宛書簡一九四三年から四五年までの16通の内、宮本顕治様が13通、宮本顕治兄が3通となっているように、その間柄が偲ばれます。(光市 西本孝一)

【原稿募集】全国の顕彰碑・墓碑を各地の方々の協力により紹介してきました。七〇件におよびます。なお全国には未紹介の碑があります。連載は今後も継続しますが、一冊にまとめて発行する計画もすすめています。積極的な寄稿をお願いします。字数600字、写真添付。

【原稿募集】全国の顕彰碑・墓碑を各地の方々の協力により紹介してきました。七〇件におよびます。なお全国には未紹介の碑があります。連載は今後も継続しますが、一冊にまとめて発行する計画もすすめています。積極的な寄稿をお願いします。字数600字、写真添付。

時の焦点

憲法第九六条で、憲法改正は、各議院総議員の三分の二以上の賛成で国会が決議。国民投票で過半数の賛成が必要と規定していません。

国民投票法案はその手続き法。憲法制定後半世紀以上策定しないのは違憲行為だと改憲派は主張しますが、主権者国民の多くは長年にわたり現行憲法の順守と活用こそ求め続けてきていて、従って国民の権利侵害という論拠はな

く、改憲促進のルールづくりにはかなりませ

その法案の問題点は、①改憲条項が複数の場合、一括投票か逐条投票かは未定で、おおざっぱに扱う一括投票の危険性が残されています。

②「国民の過半数の賛成」とは、有権者の過半数、全投票者の過半数、有効投票の過半数など意見が分かれますが、政府与党の骨子では改憲派に有利な有効投票の過半数としています。

③選挙年齢。いま全国の地方自治体の住民投票では「十八歳選挙

権」が普及しはじめていますが、現行の国政選挙と同じ二〇歳とされています。

④選挙運動がきびしく規制されています。とくに公務員や教育者の「地位利用の禁止」と、新聞・雑誌・放送などの報道、評論の禁止など憲法を守る運動や国民の自主判断の参考となる情報・資料の提供が制限されて、暗やみ投票になるおそれがあります。

⑤国会で議決・発議後、国民への改憲案の周知期間は「三〇日以後九〇日以内」。広く国民的討議をおこな

い、民主的な合意実現のために少くとも半年から一年は必要です。現行憲法も制定後施行まで六カ月周知徹底の期間を置いてきました。十分な周知期間は、改憲の是非をきめる国民の究極的で重大な権利の保障として不可欠です。

国民投票法案は、こうした自民党と公明党が合意した反国民的骨子にもとづいて、憲法改悪の地ならしとして今国会に提案されようとしているのです。(元)

国民投票法案

抵抗の群像

日本帝国軍隊に反戦を
働きかけた久木興治郎

西田 清

久木興治郎(ひさき・こうじろ)は十九歳七カ月の時、大阪で三・一五弾圧によって逮捕され、治安維持法違反で懲役五年の判決を受け、非転向をつらぬいて、一九三四(昭和9)年三月まで獄中生活を送りました。

久木興治郎は、一九〇八(明治41)年八月二日に滋賀県犬上郡龜山村太堂(現彦根市太堂町)で父尚治郎、母たねの二男(長男は夭折)として出生、三歳の頃両親に従って愛知郡愛知川町中宿に移住しました。

久木は一九二〇(大正9)年に愛知川小学校五年を修了して県立八日市中学校(現八日市高校)に入学、一九二五(大正14)年には大阪外国語学校(現大阪外大)露語科に入学、学生社会科学研究会に加盟しました。

翌年に学連事件が起こり社研はつぶされますが、それにかわって久木は親友の小島克巳らと読書会を組織しました。二六年四月に新生に読書会加入を勧めるピラを配布したところ、久木は天王寺署に検挙され、外語学校を放校されました。

久木は放校と同時に無産青年同盟の常任活動家になったようで、同年七月、久木は大阪市浪速区敷津町三丁目二番地の大阪青年同盟事務所に住んでいました。

その年に久木は日本共産党青年同盟に加入、翌二七(昭和2)年四月には共青関西地方委員長になつていきます。一時帰郷して脚気の養生をしたのち九月に任務に復帰していますが、その時に日本共産党に入党しています。

久木は東洋紡四貫島工場、大阪

市電気局都島車庫などに共青の細胞を組織するとともに、水平社の木村京太郎を通して奈良県に共青を組織、また佐川八を通して三重県に共青組織をつくる努力を続けました。

久木はまた兵士青年に軍国主義と戦争に反対するよう、働きかけました。

当時、一九二七年五月に第一次山東出兵が強行され、国民の側は対支非干渉全国同盟を結成して反戦行動に立ち上がったいました。

共青関西地方委員会は十月、兵士に対して軍国主義反対の働きかけを行なうことを決め、十二月には日本共産党が「二七年テーゼ」で中国侵略と戦争準備に反対する闘争を「緊切焦眉の義務」としたことを受けて、軍隊内に共青細胞を建設する方針を決定しました。

久木は十二月に非法法機関紙

「青年衛兵」を発行する一方、歩兵第八連隊、歩兵第三十八連隊の兵士に反戦ピラを配布、二八(昭和3)年二月の普選に当たって京都深草砲連隊や鯖江歩兵連隊の兵士に「戦争に反対せよ」とピラを郵送しました。また、伏見工兵隊に入営した中村福麿(共青員)に対して、軍隊内での共青建設を指

導しました。さらに二八年三月十日、共青関西地方委員会は「兵卒新聞」第一号を発行しますが、その中心にいたのは久木でした。

三・一五弾圧に関する司法省から陸軍省への秘密報告は「日本共産青年同盟ニ於テ八回々盟関西地方委員久木興治郎が専ラ軍隊方面ノ宣伝ヲ分担シ(一名軍事教官ノ名アリ、然シ兵役関係アリタルモノニアラス)」と述べています。

久木のこのような活動は、三〇年代の日本共産党と共青の軍隊内での反戦活動の先駆をなすものといえます。

久木興治郎は、法廷でも解党主義に反対して勇敢に闘い、被告に「つよい感銘を与えています。久木は判決後、一九二九年四月に大阪刑務所に下獄、のち高知、滋賀の刑務所に服役、一九三四年三月に満期出獄しました。

久木は、郷里の滋賀県愛知川町で休養したのち翌年十月に大阪に出ますが、特高につきまとわれ、仕事も間借り先もない生活が続きました。のち日刊教育新聞に就職しますが、三十七年七月二十四日、大川で遊泳中に溺死し、二十九歳の生涯を閉じました。

(滋賀県本部)

同盟歌壇

碓田のぼる選

新潟県 加茂川ハル子

轟々と流雪溝に音を立て丈余の雪を次々流す

八十より習いしという大正琴卒寿の友は頬染めて弾く

〔評〕第一首目は、豪雪地帯の一風景である。冬たけなわの時期もすぎた頃であろう。この歌の最大の特徴は、力強い漢語によって、緊張感のあるリズムを生み出しており、内容と一体化している。

東京都 若林 義文

東京空襲展の吾の受付に産経の記者は居丈高に党攻撃する

反戦の意を示したる文献も撤去させらる資料展なり

〔評〕「東京空襲資料展に対する産経新聞の干渉から十年」と附記してあった。筆者の住む行政区での体験であろう。口惜しさをこめ回想する。作者の現在、いまがもつ少し出た方がよい。

静岡県 江川 佐一

再びは戦争許さじと保守の元議長五十筆の署名を届けに来る

明日葉は朽ち果てしあと次つぎに新芽ふくらまず横に並びて

〔評〕二番目原作は「明日葉の朽ち果ていくもさびしかり横に並びし新芽ふくらむ」であった。三句はこの歌・キーワードとしての「明日葉」のイメージをそぐ。一首目平和の願意の拡がり。

東京都 山崎 元

ナチに抗せし共産主義者称つドイツ首相の戦後六十年

〔評〕「ヒトラー暗殺計画六〇周年記念演説」とあり。この歴史認識の正しさを、日本の首相につきつけている気配が言外にある。

映画

小林多喜二を描く初めでのドキュメンタリー映画「時代を撃て・多喜二」が全国で上映展開している。

多喜二の作品や業績、生涯の足跡については、これまで多くの文書や職者による解説など枚挙にいとまがない。

今回の多喜二映画の特徴は、新しい発掘や彼が尊敬してやまなかった志賀直哉との交流を丁寧に紹介していることや、シカゴ大学教授の多喜二研究者ノーマ・フィールドを登場させて国際的視野から多喜二像を浮き彫りにするなど、神経のゆきとどいた映画に仕上げていることだろう。

しよっぱなに阪妻の無声と活劇をもつてくるなど突飛なところもあるが、全体として生地秋田から小樽時代、上京後の作家・革命家としての足跡を資料と関係者の証言、解説などで丹念にたどり、家族愛、友情、ロマンスをからめながら、ひたむきに生きた青春と多喜二文学の奥深さに光を当てている。

「時代を撃て・多喜二」

ひたむきに生きた多喜二の青春を描く

母セキ、第三吾をはじめ、生前の松田解子、映画評論家の山田和夫、土井大助、浜林正夫、シカゴ大のノーマ・フィールド氏、俳優の田村高廣、赤井英和らによって多喜二文学と人となりを深く理解させ、プロレタリア文学に光彩を放ちながら二十九歳という若さで権力に命を奪われた悔しさを、観るものに迫ってくる。多喜二を丸ごと知り、そこから今日的教訓を学ぶ格好な教材にもなっている。

結び近く、多喜二の隣人だったという高齢の婦人が、彼の学生時代の絵を所持していたために特高につきまとわれた体験を語り、多喜二虐殺について「あんなひどいことをして罪にならないものなんでしょうかね」とつつましく語った言葉が、深い余韻となつてひびくのである。(S)

監督・池田博穂、上映時間88分。同盟推薦映画。上映について問い合わせは映画「時代を撃て・多喜二」製作委員会。
☎03 5212 1383。

第9回国連ツアー日程

月日	Aコース	Bコース
8月3日(水)	東京成田空港発	ジュネーブ着
4日(木)	ジュネーブ	国連要請行動
5日(金)	夜「ジャパン・デー」	
6日(土)	ジュネーブ発 クラクフ泊	ジュネーブ発 ローザンヌ泊
7日(日)	ヴロツワフ泊	ローザンヌ泊
8日(月)	ドレスデン泊	ジュネーブ泊
9日(火)	ドレスデン泊	ジュネーブ発
10日(水)	ベルリン泊	成田着
11日(木)	ベルリン泊	
12日(金)	ベルリン発	
13日(土)	成田着	

お申し込み、資料請求は
 富士国際旅行会社営業部 小野寺研一
 TEL 03 3357 3377
 FAX 03 3357 3317

**Aコース：(約四八万円)
 Bコース：(約三八万円)**

今年(戦後六〇周年)、「再び戦争と暗黒政治を許さない」記念行事が日本やヨーロッパの各所で行われます。
 Aコースは、その戦跡をめぐって、ジュネーブ四泊後、ポーランドのアウシュビッツからバスで陸路ドイツに入ります。ドレスデンは大戦時イギリスの空襲で大被害を蒙り、「ドイツのヒロシマ」と言われています。マイセン(陶磁器の町)やポツダムを経てベルリンに入り、七月に完成予定の「ホロコースト・メモリアル」プロレタリア版画家「ゲート・コルヴィツ」を訪ねます。
 Bコースは国連要請行動「NGOブリーフィング」や「ジャパン・デー」の後、レマン湖畔を列車で移動、シオン城や古都ローザンヌを訪ねます。両コースとも、国連行動の合間にシャモン・モンブランへの一日旅行やジュネーブの旧市街や美術館見学がそれぞれの好みで出来るような巾のある日程で企画しました。世界の人権状況を知り、外国NGOと交流し、日本各地からの参加者同士の友好を深めるために多数のご参加を！
 (斉藤久枝)

事務局日誌

- 七月十七・十八日 伊藤千代子生誕一〇〇周年 墓前・碑前祭、記念のつどい 伊藤千代子生誕一〇〇周年をむかえ、七月十七日記念集会在長野県諏訪で行われます。集会は、伊藤千代子墓前・碑前祭と記念のつどいを行います。夜には全国参加者の交流会も予定しています。
- 翌日は、信濃路バスツアーで、伊藤千代子の生家跡、諏訪高女、藤森成吉歌碑、霧が峰高原、無言館、山本宣治記念碑などに行く予定です。ぜひ、ご参加を！
- 3月7日 国際女性デー実行委員会参加。
- 3月8日 国際女性デー5名参加。
- 3月10日 国際人権運動日本委員会参加。
- 3月16日 「不屈」編集委員会
- 3月18日 第58回解放運動無名戦士合葬追悼会参加。
- 3月20日 国際反戦デー参加。署名活動。
- 3月23日 中央三役会議
- 3月24日 中央3月常任理事会
- 3月30日 「不屈」編集委員会

権力犯罪者・特高官僚の戦後を綿密な調査で赤裸々にした告発の書

柳河瀬 精著

告発 戦後の特高官僚

定価1800円(税込) 送料250円 発行 機関紙出版センター

お申し込みは 治維法国際同盟大阪府本部へ 10部以上申し込みの場合、2割還元・送料無料 一般書店でもお申し込みいただけます